

慶応、成長土台に日々の意見交換

「つなぎの野球」で桐蔭学園下す／神奈川

<高校野球神奈川大会：慶応 5-4 桐蔭学園>

◇12日◇1回戦◇サーティーフォー保土ヶ谷球場
7回無死、左越え本塁打を放ち次打者・前田とハイタッチを交わす二宮(左)(撮影・勝部晃多)

慶応が桐蔭学園とのノーシード対決に競り勝ち、初戦を突破した。プロ野球広島で通算2119安打を記録した前田智徳氏(50)の次男でエースの晃宏投手(3年)が好救援を見せ、打線も犠打でつなげた終盤の好機から得点をもぎ取った。チーム一丸の「つなぎ野球」で難敵を振り切った。

◇ ◇ ◇

「こういうゲームをやろうよとずっと言ってきた。やっとチームになった」。森林貴彦監督(48)の目は涙にぬれていた。「故障者が多くて、前田も投げられるかどうか分からない中で…。泥臭く点を取ってくれた。人任せ、自分よがり、慶応の伝統をぶち壊してきた。そう言ってきましたが、つなぎのような試合をしてくれました」と何度も目元を拭いた。

目指してきた「つなぎの野球」が実を結んだ。1点を先制した直後の5回。先発荒井が逆転を許すと、2番手でエース前田がマウンドに上がった。四球で2死満塁としたが、次打者を空振り三振。父智徳氏が右翼スタンド最上段から見守る前で、傾きかけた流れを引き留めた。

打線もつないで、勝負どころをものにした。二宮のソロ本塁打で同点に追い付いた7回。なお無死一、二塁で投手から左翼に回った荒井が犠打を決めた。押し寄せムードに乗って、1番真田が勝ち越しの2点適時二塁打。8回も坪田の犠打で好機をつくり、貴重な追加点を挙げた。

チーム一丸でもぎ取った白星。その土台には、選手たちの日々の意見交換があった。今春の県大会敗退後、ベンチ外のメンバーから「自信持っていないやつが多い」とげきが飛んだ。課題があればレギュラー、控えに関係なく、指摘し合えるチームになった証しだった。金岡優仁主将(3年)は「全員が力を合わせないと桐蔭には勝てない。1人1人がつなぎ野球ができました」と胸を張った。森林監督は「徐々に泣かされましたね」と言った。ノーシードから18年以來の夏の甲子園を目指す今夏。もう、「伝統をぶち壊してきた」と言われた姿はない。慶応の快進撃が始まる。【勝部晃多】

日刊スポーツ 桐蔭学園 82年以來の初戦敗退、

2年エース山口凱矢「申し訳ない」

2021年7月12日 23時30分

<キミしか勝たん>

<高校野球神奈川大会：慶応 5-4 桐蔭学園>◇12日◇1回戦◇サーティーフォー保土ヶ谷球場
憧れの先輩たちと甲子園を目指す夏は、82年以來の初戦敗退で幕を下ろした。桐蔭学園の2年生エース、山口凱矢(がいや)投手は声を振り絞った。「序盤、先輩たちに守備で助けてもらったのに、中盤のエラーをカバーできなかつたのが悔しい。申し訳ない気持ちでいっぱいです」。変化球





が決まらず、高めの直球を狙われて7回途中4失点。敗戦の責任を一身に背負った。

「先輩たちと1日でも長く野球をする」ことが、山口凱の目標だった。3年生の木本圭一主将、松下歩叶（あゆと）内野手、勝間田礼琉（らいる）捕手は、静岡裾野シニア時代から5年間チームメート。18年には、ともに中学シニア日本一になった。特に、投手経験があり、寮も同部屋の木本は昔から憧れの存在で頼れる先輩。この日も1点を追う9回先頭で三塁打。ホームは踏めなかったが、主将の意地を、しっかり目に焼き付けた。

「投手の桐蔭と言ってもらえるよう、レベルアップしていきたい。そして、甲子園で活躍する姿を（先輩たちに）見せたい」。今度は自分が、頼られる先輩になる番だ。

【勝部晃多】

慶応対桐蔭学園 敗戦にうなだれる桐蔭学園ナイン(撮影・勝部晃多)

神奈川新聞 カナロコ 慶応が桐蔭学園下す 2021年7月12日



高校野球の第103回全国選手権神奈川大会

12日、サーティーフォー保土ヶ谷球場で1回戦の桐蔭学園-慶応が行われ、慶応が5-4で桐蔭を下して2回戦に駒を進めた。

甲子園出場経験のある強豪校同士の好カードは、慶応が2-2の七回に真田壮之（3年）の2点二塁打で勝ち越しに成功。八回にも1点を加えた。投げては荒井駿也（3年）と前田晃宏（3年）の継投で逃げ切った。慶応は14日、横須賀スタジアムで第3シードの光明相模原と戦う。

神奈川新聞社 © Kanagawa Shimbun.

日刊スポーツ 慶応が桐蔭学園との強豪対決制し2回戦へ

チーム	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
慶応	0	0	0	0	1	0	3	1	0	5
桐蔭	0	0	0	0	2	0	0	2	0	4

スタンドから次男・晃宏投手を見守る前田智徳さん
 <高校野球神奈川大会：慶応5-4桐蔭学園>◇1回戦◇
 2021年7月12日13時6分



ともにノーシードの慶応と桐蔭学園が1回戦で激突。慶応が5-4で競り勝ち2回戦進出を決めた。広島で活躍した前田智徳氏（50）の次男・晃宏投手（3年）がリリーフで登板し勝利投手になった。慶応は14日2回戦でシード校の光明学園相模原と対戦する。



4 回裏救援する慶応エース・前田

5 回、先制のホームを踏む慶応・小堀と盛り上がるナイン



慶応が桐蔭学園との強豪対決を 1 点差で制し初戦を突破した。広島で活躍した前田智徳氏（50）の次男でエースの晃宏投手（3 年）が、父が見守る中、リリースで登板し勝利投手となった。

前田は 1-2 と逆転された 5 回途中から登板。キレの良い変化球で桐蔭学園打線の勢いを止めた。すると 7 回表、二宮慎太郎外野手（3 年）のソロ本塁打で同点。さらに前田自らの安打などで 2 点を勝ち越した。

慶応は 8 回表に 1 点を加え 5-2。その裏 2 点を返され 1 点差となったが逃げ切った。前田は 8 回で降板した。



先発する慶応・荒井

先発する桐蔭学園・山口凱

（いずれも撮影・勝部晃多）

【5 回表】（桐蔭学園投手・山口）7 番小堀 2-2 から右越え二塁打 8 番金岡 1-2 から犠打。投手と三塁の間に転がり、投手山口が捕れず、すぐに処理した三塁手が一塁に送球。一塁ベースカバーの二塁手が捕球ミス。ボールは一塁ファウルグラウンドへ。その間に二塁走者の小堀が生還し 1 点を先制。なお無死一塁

【5 回裏】（慶応投手・荒井→前田晃宏）9 番山口 右前打。無死一塁 1 番慶野 3-1 から一塁前へのバントヒットが決まり無死一、二塁 2 番田中 初球

を犠打。1 死二、三塁 3 番木本 四球。1 死満塁 4 番松下 1-2 から浅い右飛。タッチアップできずに 2 死満塁 5 番相沢 0-2 から左翼フェンス直撃の二塁打で 2 者がかえり逆転。2 死二、三塁

【7 回表】（桐蔭学園投手・山口→増本）6 番二宮 左翼ポール際へ同点ソロ 7 番前田 左前打。無死一塁 8 番金岡 バント（犠打つかず）するも処理した一塁手が二塁へ悪送球。無死一、二塁 9 番荒井 犠打。1 死二、三塁 1 番真田 中越え二塁打で 2 者がかえり 4-2

【8 回裏】（慶応投手・前田）6 番進藤 右前打（代走牧野） 7 番小林 右中間二塁打で一塁走者が生還して 3 点目。無死二塁 8 番勝間田 右飛。1 死二塁 9 番代打竹内 空振り三振。2 死二塁 1 番慶野 中前の浅いフライを横地が飛び込むも捕れずに二塁打となり 4 点目。2 死二塁 2 番田中 右前打。二塁走者がホームを狙うも、右翼手からの返球でタッチアウト

【9 回裏】（慶応投手・前田→荒井）3 番木本 右中間への三塁打 4 番松下 右飛。タッチアップせず 5 番相沢 三塁線への当たりで今泉が好捕。三塁走者帰塁するもタッチアウト。2 死一塁 6 番代打木原 中飛